

# 今後の学力向上に関する取組の徹底（佐伯市教育委員会・佐伯教育事務所）

H 2 6 . 9 . 5

## □共通

### 1 条件を付けて読み書きする指導の徹底

- ア) 学校図書館を活用し、並行読書・比べ読み・ブックトーク等、本に親しむ活動を実施する。
- イ) 一定時間内に文章・図表等から必要な情報を取り出す活動を実施する。
- ウ) 思考ツール等を活用して情報の整理・分析を行い、立場や根拠を明確にさせる。
- エ) 構成、字数、キーワード等を指定し、条件に従って書く活動を授業の中に設定する。

### 2 年間・単元指導計画に位置付けた過去問題の授業・評価への活用

- ア) B問題に求められる思考過程を各教科の授業の中で再現する学習活動を仕組む。
- イ) 授業で学んだことが転用できるか、定着が不十分な事柄がないかA問題及びB問題で評価・確認し、必要に応じて補充する。

## □小学校

### 1 授業と宿題をつないだ家庭学習の時間の意図的・計画的な拡充

- ア) 学習内容の定着確認・補充・応用練習、課題に沿って調べさせたり考えさせたりする等の宿題を意図的・計画的に課す。
- イ) 生活実態アンケートの分析等の情報を保護者に発信するとともに、望ましい生活リズムの確立に向けた具体的な手立てを共に考える。

### 2 2か月程度を単位とした評価テスト等の確実な実施

- ア) 学期の半ばや終わりに2～3の単元等を範囲として評価し、補充する。
- イ) 各学年の課題や対策を学年外とも共有し、全校体制で改善に取り組む。

## □中学校

### 1 全ての教科等における言語活動の充実に向けた授業改善

- ア) 「課題→見通し→自力解決→交流→まとめ・振り返り」の流れを確立する。
- イ) プレゼンテーション・討論会・レポート等、付けたい力に即した言語活動を単元の中に位置付ける。

### 2 「活用する力」の育成に向けた総合的な学習の時間の改善

- ア) 関係小学校の総合的な学習の時間のカリキュラムを把握し、自校のカリキュラムを改善する。
- イ) 「課題の設定→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現」という探究の過程を充実させる。